

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	2024年 7月 29日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府宇治市槇島町二十四16番地	氏名(法人にあっては、名称及び代表者名) 株式会社微生物化学研究所 代表取締役社長 大西 徹 電話番号: 0774-22-4518

環境マネジメントシステムの名称	京都微研環境マネジメントシステム
適用範囲	株式会社微生物化学研究所 本社、第二研究所、物流センター
導入年月日	2013年 5月 1日
認証番号	
基本方針	株式会社微生物化学研究所は、動物用医薬品の製造、販売に係る全ての活動、製品及びサービスの環境影響を低減する為に環境関連の法規の遵守、環境汚染の予防の推進及び環境マネジメント活動の継続的改善を図る。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	(1) 自動車燃料の年間使用量 昨年度対比1%減 (2) 焼却ゴミ排出量昨年度対比1%減 (3) エコキャップ運動の実施
目標を達成するための取組の内容	(1) 自動車燃料の年間使用量 昨年度対比1%削減・・・近距離外出時の社用車使用の削減。 (2) 焼却ゴミ排出量1%削減・・・社内廃棄物の現状把握、廃棄物分別状況の確認 (3) エコキャップ運動の実施・・・ペットボトルキャップを回収業者に届け、寄付金とすることで発展途上国へのワクチン接種へ貢献。
目標を達成するための取組の進捗状況	(1) 自動車燃料の年間使用量 昨年度対比1%削減・・・社用車更新でハイブリッド車の導入などは特になし。 (2) 焼却ゴミ排出量1%削減・・・社内業務の一部をシステム運用またはデータ化することで、紙(焼却ゴミ)の使用量を低減した。 (3) エコキャップ運動の実施・・・自販機前に専用ボックスを設置しておりペットボトルキャップ約13,200個を回収できた
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	(1) 自動車燃料の年間使用量 昨年度対比1%削減・・・年間使用量が昨年比31%増加した。社用車更新でハイブリッド車の導入などは特になし。 (2) 焼却ゴミ排出量1%削減・・・焼却ゴミ排出量前年比10.7%減少できた。 (3) エコキャップ運動の実施・・・順調に回収できリサイクルできている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況については、年1回確認を行っている。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、原則1年に1回検討している。自動車燃料の昨年度対比1%減については、31%増であった。これは新型コロナの制限が緩和されてきたことでもあるのではないと思う。焼却ゴミ排出量昨年度対比1%削減については、前年比10.7%減少し達成できた。ガレージセールなども多少は効果が出ているのではないと思う。エコキャップ運動の実施については、昨年度対比回収戸数が4.8%増加した。社員の方々の意識によるものではないかと感じている。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。